

千葉市図書館おすすめブックリスト

よ ん で み よ う

<3・4年生>

あなたの心に豊かな読書体験が残るように、
図書館員が心をこめて本を選びました。

ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイグ/さく せた ていじ/やく

評論社 2006年(初1975年)

ロバの子のシルベスターは、願いがかなうという小石をひろいました。ところがその帰り道、目の前にライオンがあらわれたので、思わず「岩になりたい！」と願ってしまいました。岩になって動けなくなったシルベスターは、家にもどれるのでしょうか。



お江戸の百太郎

那須 正幹/作 長野 ヒデ子/画

岩崎書店 1986年

寺子屋で学ぶ百太郎は12才でしっかり者。岡っ引きの父ちゃんと二人ぐらしです。父ちゃんは人は良いけれど、捕物の腕は今一つさえません。百太郎は友だちといっしょに父ちゃんの手助けをします。いろいろな話が4話入った短編集です。全6巻。



大どろぼうホッツェンプロッツ

プロイスマー/作 中村 浩三/訳

偕成社 1966年

おばあさんのコーヒーひきをぬすんだ悪名高い大どろぼうをつかまえようと、まごのガスパールと友だちのゼッペルは作戦を立てますが、なんと大どろぼうにつかまってしまう。ふたりは知恵をしばって大どろぼうに立ち向かいます。全3巻。



おそうじをおぼえたがらないリスのゲルランゲ

小・ロッシュ=マゾン/作 堀内 誠一/画

山口 智子/訳 福音館書店 1973年

子リスのゲルランゲはおそうじが大きらい。じまんの赤いしっぽを汚したくないからです。ある日、おばあさんにしかられて家を出し、オオカミにつかまりますが、少しもあわてず、意地っ張りの根性でオオカミをやり込めてしまいます。全2巻。



火曜日のごちそうはヒキガエル ヒキガエルとんだ大冒険1

ラッセル・E・エリクソン/作 ローレンス・ディ・フィオリ/絵

佐藤 涼子/訳 評論社 2008年(初1982年)

ウォートンとモートンはヒキガエルの兄弟。ある日、ウォートンはおばさんにおかしを届けようと出かけますが、ミミズクにつかまってしまう。6日後の誕生日のごちそうにするためです。ウォートンは6日間をどのようにすごしたのでしょうか。全7巻。



がんばれヘンリーくん

ベバリー・クリアリー/作 ルイス・ダーリング/絵

松岡 享子/訳 学研プラス 2007年(初1968年)

ヘンリーくんは小学3年生。ある日、とてもやせた犬を拾います。あばら骨が見えるのでアバラーと名づけ、家につれて帰ろうとバスに乗ると、あばれだして大騒ぎに。それからというもの、思いがけない事件が次々におこります。全14巻。



ものぐさトミー

ペン・デュボア / 文・絵

まつおか きょうこ やく いわなみしよてん
松岡 享子 / 訳 岩波書店 1977年

トミーは、電気じかけの家に住んでいます。

朝ベッドから起きるのも、お風呂に入るのも、服を着るのも、食べるのも歯をみがくのも、すべて電気じかけ。ところがある嵐の日、停電になって、電気じかけの家は7日間止まってしまいます。

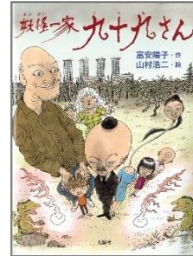


妖怪一家九十九さん

ようかい つくも
富安 陽子 / 作 山村 浩二 / 絵

りろんしゃ
理論社 2012年

人間たちが住む団地の一室で、こっそり生活を始めた妖怪一家は、ヌラリヒョン、ろくろっ首、サトリにアマノジャクに一つ目小僧、見越し入道とやまんばの7人家族です。最も大切なルールは「人を食べないこと」。ちょっとコワくてゆかいなお話。全10巻。



セロひきのゴーシュ

みやざわ けんじ もたい たけし
宮沢 賢治 / 作 茂田井 武 / 画

ふくいんかんしよてん
福音館書店 1966年

セロひきのゴーシュは、演奏が下手でしかられてばかり。ある晩、1ぴきのねこが、セロをひいてほしいとやってきます。それから毎晩動物たちが次々にやってきて、演奏をねだるようになり、ゴーシュの腕前もあがっていきます。さし絵も楽しい物語です。



小さなスプーンおばさん

おおつか ゆうぞう やく
アルフ・プリョイセン / 作 大塚 勇三 / 訳

がつけん
学研プラス 1966年

おばさんはいつも突然、時も所もおかまいなしに、ティースプーンくらいに小さくなってしまいます。困ることもありますが、知恵をはたらかせて、いつも通りに困難を乗り越えていきます。



長くつ下のピッピ

いわたしよてん
リンドグレーン / 作 大塚 勇三 / 訳

いわなみしよてん
岩波書店 1964年

ピッピは9才の女の子。世界一力が強くて、こわいもの知らず。学校には行かず、ごたごた荘でくらしています。ピッピのやることはきそくてんがい奇想天外ですが、となりの家のトミーとアンニカは、そんなピッピが大好きで、いっしょに遊ぶようになります。全3巻。



百まいのドレス

えれなー・えすたひす / 作 ルイス・スロポドギン / 絵

いしい ももこ やく いわなみしよてん
石井 桃子 / 訳 岩波書店 2006年

ワンダは家が貧しくて、いつも同じ服を着ているという理由でいじめられています。「百まいのドレスを持っている」と言ったため、ますますからかわれたワンダは、ある日美しい百まいのドレスの絵を残して、学校にこなくなりしました。



まだまだおすすめ
あります！

この本もよんでみよう

「おじいちゃんの口笛」ウルフ・スタルク / 作 菱木 晃子 / 訳 ほるぷ出版 1995年

「シンドバッドの冒険」ルドミラ・ゼーマン / 文・絵 わき あきこ やく いわなみしよてん
脇 明子 / 訳 岩波書店 2002年

千葉市図書館

中央図書館	043-287-3980	若葉図書館	043-237-9361
みやこ図書館	043-233-8333	緑図書館	043-293-5080
花見川図書館	043-250-2851	美浜図書館	043-277-3003
稲毛図書館	043-254-1845		

その他、分館・公民館図書室の情報や、各館の詳細な情報はホームページをご覧ください。

千葉市図書館 検索

